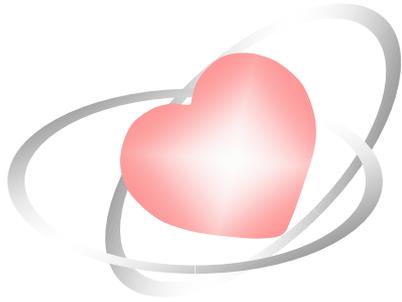


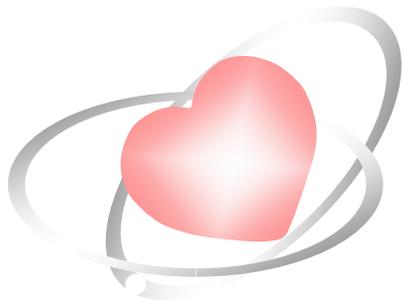
1. 地域包括支援センターの概要
2. 必要な地域資源について  
～住民のニーズから考える～



さいたま市ゆるキャラ  
ヌウ

さいたま市中央区北部圏域  
地域包括支援センターナーシングヴィラ与野

主任介護支援専門員 黒川 愛



## さいたま市中央区ってどんなところ？

令和2年10月1日現在

- ・面積 8.39km<sup>2</sup> (10区最小・岩槻区の1/6)
- ・人口 102,258人 (10区中3番目に少ない)



旧与野市が一つの区となり、ネットワークが構築しやすい。  
圏域内は『新しいビル群』と『江戸時代の面影』が共存。

- ・高齢者数 約21,579人 (10区最少)
- ・高齢化率 21.07% (3番目に低い①南②浦和)

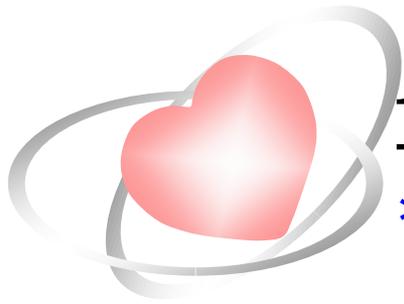
※市平均：23.02%、県平均：26.2%、最高：岩槻区 30.22%



今はまだとても若い地域！子育て世代も多い。

地域活動には誘われたら参加するけど自分が先頭に立つのは・・・

- ・認定者数 約3,800人前後 (年間100人増？)
- ・認定率 17%台 (10区4番目・①浦和区②大宮区③北区)
- ・自治会加入率 58.3%(平成30年度、市平均：63.5%)



# 1. 地域包括支援センターってどんなところ？

\*さいたま市の委託

→市内27か所、うち中央区2か所

(日常生活圏域ごとに設置、理想は中学校区に1つ)

\* 65歳以上の高齢者を介護・福祉・医療などの面から総合的に支援（よろず相談所！）

## \*業務の4本柱

1. 総合相談（必要なサービスや制度を紹介）

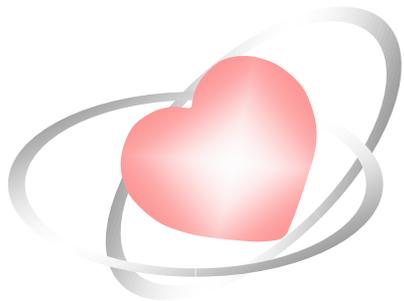
2. 権利擁護業務（成年後見制度活用をサポートや虐待防止への取り組み）

3. 介護予防ケアマネジメント

（要介護状態にならないよう介護予防の支援を行う）

4. 包括的・継続的ケアマネジメント

（ケアマネジャーへの後方支援や地域のネットワークづくり）



# シニアサポートセンター

地域包括支援センター

法律に定められた公的な総合相談窓口です。



いつまでも健康でいたい



体力に自信がなくなってきた



介護の相談をしたい



お隣さんのことが心配。認知症?虐待?

自分のこと

家族のこと

近所の方のこと

「悩み」「疑問」いつでもご相談ください!

土日も相談ができます  
(年末年始を除きます)

相談は無料です

介護している方も  
相談できます

秘密を守ります

専門知識を持ったスタッフがみなさんの相談に応じます。



保健師

(または経験のあるボランティア)  
ご利用者の状態に合わせた介護予防をお手伝いします。



主任  
ケアマネジャー

地域のケアマネジャーの支援・指導を行い、質の高いサービスの提供に努めます。



社会福祉士

権利と尊厳を守り、虐待の早期発見や成年後見制度の案内などに対応します。



地域支え合い推進員

(高齢者生活支援コーディネーター)  
高齢のみなさんが暮らしやすい地域を一緒につくります。

担当のセンターについては、4ページ以降をご確認ください。

# シニアサポートセンターの主な仕事

※「シニアサポートセンター」はさいたま市の地域包括支援センターの愛称です。

地域の高齢のみなさんの心配事をお聞きします

総合相談業務

法律に定められた公的な総合相談窓口です。

利用できる人は？

どなたでも無料で利用できます。

※介護保険のサービスを利用する場合は、別途自己負担が発生します。

午前9時から午後5時までを含む営業時間内に相談を受け付けています。

※営業時間はセンターによって異なります。



どうしたら相談できるの？

電話や窓口で相談ができます。



※状況によってご本人の自宅への訪問も実施しておりますので、まずはお電話ください。

いつまでも自分らしく生きるために権利と尊厳を守ります

権利擁護業務

●「成年後見制度」についての相談受付

たとえ認知症などになっても、不利益を受けることがないように、地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるように支援します。

悪質な訪問販売や住宅リフォームの被害にあったとき、解約方法や事後の救済のための相談も受け付けます。

●高齢者の虐待の防止・早期発見

市や関係機関と協力しながら、高齢者の虐待防止、早期発見・対応に努めています。



一緒に語り合いませんか？ サロン・カフェを開催しています

介護者サロン

介護をしている方同士が、悩みや疑問などについて情報交換したり、交流を図ったりしています。

オレンジカフェ(認知症カフェ)

認知症の方を介護する家族だけでなく、認知症の方本人や、地域住民、専門職など、誰でも気軽に参加でき、互いに交流することができる集いの場です。

会場・日程などお気軽にお問合せください。

暮らしやすい地域づくりに取り組んでいます

包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるように、介護サービス提供事業者や医療・行政機関のネットワークづくりを進めています。また、主任ケアマネジャーが、地域のケアマネジャーの支援・指導を行い、質の高いサービス提供に努めています。



地域支え合い推進員 (高齢者生活支援コーディネーター) を配置し活動しています。(高齢者生活支援体制整備事業)

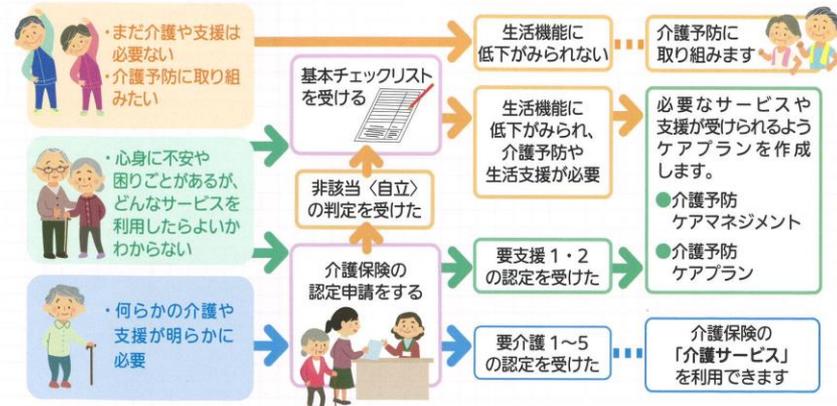


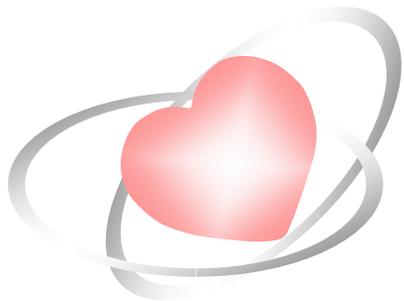
地域の助け合い・支え合い活動をはじめとして、高齢者や地域のみなさんが安心して暮らし続けられるよう一緒に考えていきます。

地域のみなさんの状態にあわせて 介護予防のお手伝いをします

介護予防ケアマネジメント業務

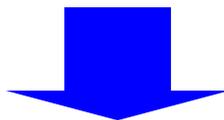
介護保険のサービスを必要としている方、まだ必要でない方、ちょっと不安を感じる方などその方にあったサービスが利用できるよう、市と連携をとっています。





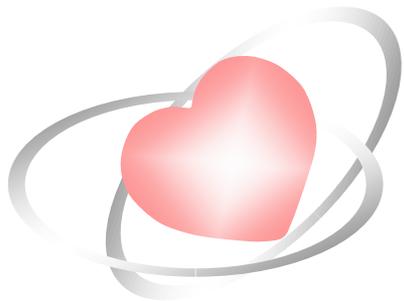
# 介護予防の基本的な考え方

- ① 高齢者が要介護状態になることをできる限り防ぐ（発症を予防する）こと
- ② 要介護状態になっても状態がそれ以上に悪化しないように維持・改善を図ること



その人の生活・人生を尊重し、  
できる限り自立した生活を送れるように支援すること。

**介護保険の基本理念→介護保険法第1条・第4条**



## 2. 必要な地域資源について ～住民のニーズから考える～

Case 1 : 「急な骨折で一人暮らしに黄信号」

(総合相談)

Case 2 : 「高齢者世帯の異変？」

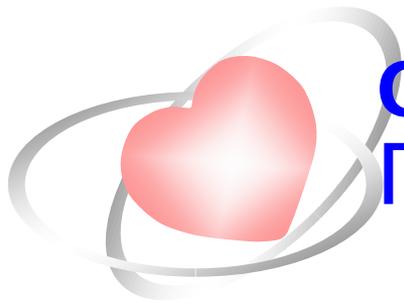
(権利擁護)

Case 3 : 「体操ができなくなって困った・・・」

(介護予防)

Case 4 : 「もっとケアマネジャーとつながりたい！」

(包括的・継続的ケアマネジメント)



## Case 1 : 「急な骨折で一人暮らしに黄信号」 70代Aさん



長女：母が家の中で転んで骨折、手術をしました。  
一人暮らしなので退院後が心配で…。  
うちは共働きで子供も小さいのでなかなか…。



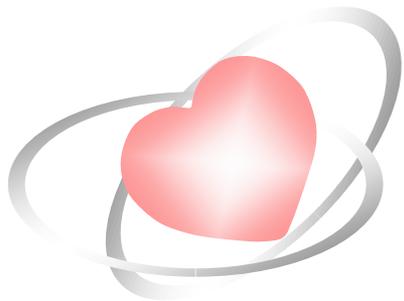
保健師：家事など困ることがあるかもしれませんね。  
訪問介護やリハビリを兼ねたデイサービスなどを  
利用しては？介護保険の申請代行もできますよ。



長女：介護保険のことなど、知らなかったので助かります。  
是非お願いします。



Aさん(後日)：不安でいっぱいだったけれど、おかげで  
骨折前に近いぐらい元気になりました♪



## Case2 : 「高齢者世帯の異変？」 80代Bさん夫妻



民生委員：最近、Bさん宅から大きな声や物音がする、と住民から聞いて心配です。どうやら奥様が脳梗塞で入院していたとか。その後からです。



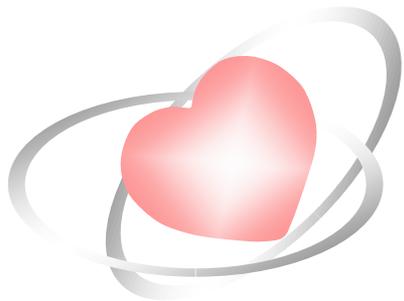
社会福祉士：ご連絡ありがとうございます。  
まずは訪問してみますね。



Bさん：家内が家事ができなくなって、全部私がやらなきゃいけない。好きなこともできなくなって、つい、イライラして怒鳴ったり、小突いてしまうんだ。



社会福祉士：それは大変でしたね。ご主人も休息を取れるように介護保険サービスを利用しませんか。



## Case3 :

「体操ができなくなって困った!」

運動大好き70代Cさん



Cさん：ずっと通ってた介護予防教室がコロナの影響で解散しちゃって……。膝の痛みが再発して困ったわ……。



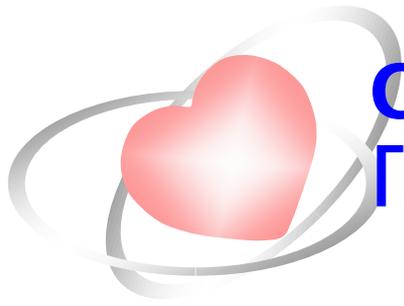
家族：コロナのことは心配だけど、閉じこもって寝たきりになられたら面倒見られないよ！



コーディネーター：既存のグループは定員いっぱいなので新しく立ち上げるのはどうですか？お手伝いしますよ。



Cさん：一人じゃできないけど、教室で一緒だったお友達なら賛同してくれるかも。楽しみになってきたわ♪



## Case4 :

# 「お年寄りばかりのデイサービスには行きたくない」 ちょっぴりシャイな50代Dさん



家族：妻が若年性認知症と診断されてしまいました。  
日中仕事なので、一人にするのが心配で…



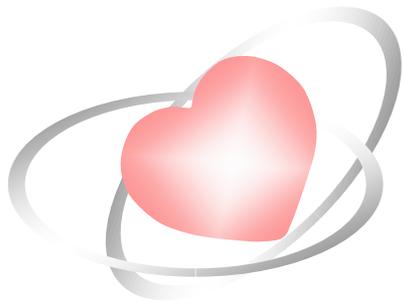
Dさん：デイサービス？見学したけど風船バレーはイヤ！  
それに人が大勢居るところは苦手…



ケアマネ：Dさんに気に入ってもらえそうな通いの場がなかなか  
見つからず、困っています。このままでは認知症の  
進行が心配、とご家族も焦っていらっしゃるし…。



主任ケアマネ：包括では『オレンジカフェ』を開催しています。  
若年性認知症の方もいらしてるのでご一緒に  
どうでしょう？ケアマネさんも良かったらどうぞ。

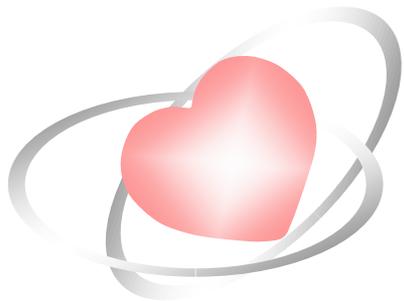


# コロナ禍における変化と課題

## ケースを通じた考察

- ◆ Case 1 (骨折) : 自粛による活動性低下で急増⇒健康寿命の短縮  
家族が会いに来られない⇒発見の遅れ等のリスク
- ◆ Case 2 (虐待) : 家族や近隣住民が容易に訪問できない  
⇒つながりの希薄化、発見の遅れによる重大化
- ◆ Case 3 (介護予防) : 自粛による活動性低下、会場確保の困難さ  
⇒身体機能や認知機能の低下
- ◆ Case 4 (ケアマネ支援・ネットワーク構築) :  
自粛による活動性低下、会場確保の困難さ  
⇒身体機能や認知機能の低下、ケアマネや利用者・家族の孤立

**喫緊の課題** ①支援が必要な人を見過ごさないための仕組みづくり  
②フレイル(虚弱)を加速させないための新生活様式の中での対策



地域包括ケアを推進するためには？  
(地域包括支援センターの視点から)

SAITAMA 2025

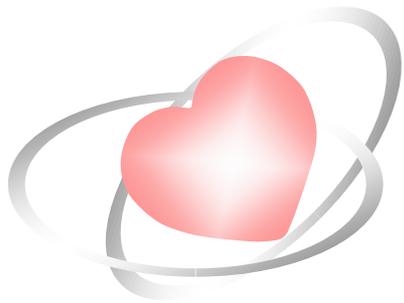
垣根  
は低く

あくまでも  
住民主体

ダメ元でも  
やってみる

まちを知り  
好きになる

つながりを  
大事にする



**これからも  
やさしい地域（まち）づくりを  
めざして・・・**

ご清聴ありがとうございました♪